

臨床研究等の情報公開

研究課題名	記憶障害を呈した脳出血の症例
研究機関	青森市民病院 医療技術局診療支援部リハビリテーション室
研究内容	脳出血により記憶障害を呈した若年の患者のリハビリテーションを経験した。本例の神経心理学的検査の結果、リハビリテーション実施の経過についてまとめた。他施設の言語聴覚士と討議し、記憶障害の評価、効果的なリハビリテーションについて共有し、今後の評価・リハビリテーションに活かす。
実施期間	研究倫理委員会承認日～令和6年9月28日
対象者	脳出血で当院脳神経外科入院し、記憶障害のリハビリテーションを実施した一例
実施方法	電子カルテから入院時の経過、画像所見、リハビリテーションの経過、神経心理学的検査の結果の情報を得て、考察を加えてまとめる。
参加撤回の自由	患者個人が特定されるような情報は記載せず、匿名化されます。参加に同意した後でも撤回することができます。撤回したことで不利益が生じることはありません。
問合せ先	青森市民病院 リハビリテーション室 第2言語治療室 電話 017-734-2171 (内線 5126) 言語聴覚士 本間 有里